

自治体の課題、現状

本町の中学校生徒数は、平成29年度の637人から令和6年度の502人となり、少子化が進んでおります。さらに、5年後の令和11年度の生徒数は468人となることが推測されており、今後も高い減少率で推移していくものと考えられます。

少子化は部活動の加入数にも影響しており、令和6年度の1・2年生の加入状況を見ると、全生徒数の80%の生徒が部活動に参加しているものの、全体数が少ないことから、一部の団体種目においては学校単位でのチーム編成がすでに困難になっている。

また、近年では学校外のスポーツクラブ等に所属する子どもが増加しているなど、子どもたちを取り巻く環境の変化などが見られ、特に部活動における団体種目のチーム編成にも少なからず影響を及ぼしており、従来の枠組みでの部活動の維持が一層難しくなっている状況です。

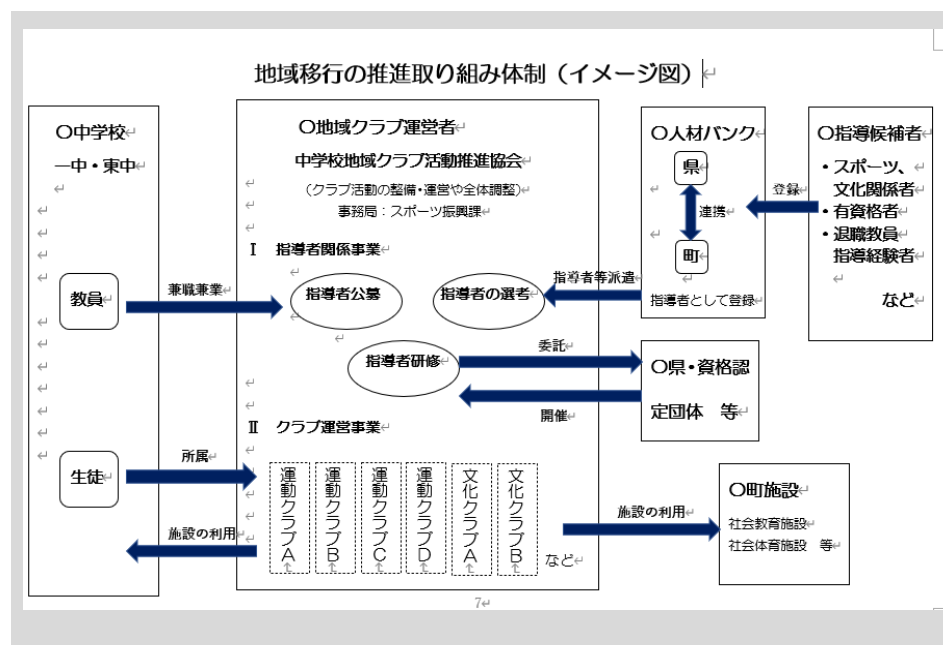
地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	2校	全生徒数	502人
域内の部活動数	24部	実施した地域クラブ数	1クラブ
全体の指導者数	3人	全体の運営スタッフ数	8人
主な運営団体	八千代町中学校地域クラブ活動推進協会		
主な種目	サッカー		
平均的な活動回数	4回/月	年間平均参加生徒実数	3年：0人/クラブ 2年：16人/クラブ 1年：9人/クラブ
参加会費	0円/年	主な活動場所	東中学校

地域移行関連の取組、成果

令和6年5月に八千代町中学校地域クラブ活動推進協会を設置し、八千代町中学校部活動地域移行推進計画の策定・地域クラブ運営方針および指導者募集要領要項の決定を行った。推進協会の委員には、町スポーツ関係団体の代表および町内中学校の校長、PTA会長などが所属し、関係団体との連携強化を図っている。指導者人材バンクには、現在24名の登録がある。とくに登録の多かったサッカーについては、学校との連絡調整を行い、教員にも兼職兼業で地域クラブの指導を行ってもらうことで八千代サッカークラブの発足を行うことができた。

運営体制図



令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

茨城県八千代町

自治体名：茨城県八千代町

担当課名：スポーツ振興課

電話番号：0296-48-2469

本報告書は、スポーツ庁の「令和6年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（運動部活動の地域移行等に向けた実証事業）」の一貫として、茨城県が実施した「令和6年度運動部活動の地域移行に向けた実証事業」の成果をとりとめたものです。

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	59 km ²
人口	21,062 人
公立中学校数	2 校
公立中学校生徒数	502 人
部活動数	24 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

本町の中学校生徒数は、平成 29 年度の 637 人から令和 6 年度の 502 人となり(減少率 21%)、少子化が進んでおります。さらに、5 年後の令和 11 年度の生徒数は 468 人となることが推測されており(平成 29 年度比較減少率 26%)、今後も高い減少率で推移していくものと考えられます。

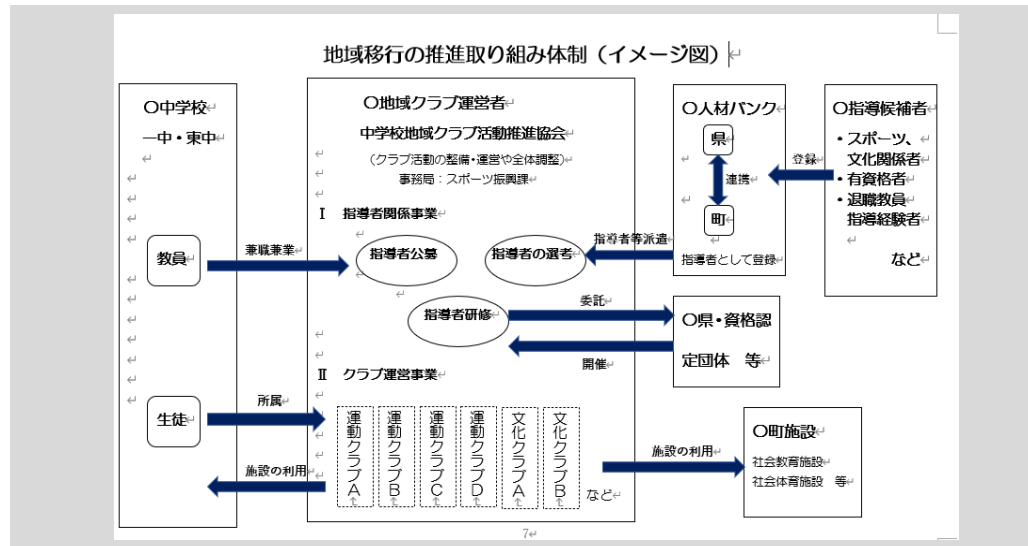
少子化は部活動の加入数にも影響しており、令和 6 年度の 1・2 年生の加入状況を見ると、全生徒数の 80%の生徒が部活動に参加しているものの、全体数が少ないことから、一部の団体種目においては学校単位でのチーム編成がすでに困難になっている、また困難になりつつある種目が出てきていることや、一中においては、生徒数の規模のわりに部活動の種目が過多になっていることなどが課題となっております。

また、近年では学校外のスポーツクラブ・団体等に所属する子どもが増加しているなど、子どもたちを取り巻く環境の変化やニーズの多様化が見られ、特に部活動における団体種目のチーム編成にも少なからず影響を及ぼしており、従来の枠組みでの部活動の維持が一層難しくなっている状況です。

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

・スポーツ振興課…部活動地域移行の主幹、八千代町中学校地域クラブ活動推進協会事務局

◎首長部局

・財務課…予算措置

年間の事業スケジュール

令和6年5月	第1回推進協会会議 推進協会設置 推進計画策定 運営方針決定 指導者募集要領要項決定
令和6年7月	指導者募集開始
令和6年11月	第2回推進協会会議 サッカークラブ発足決定
令和6年12月	保護者説明会 学校説明会 クラブ員募集
令和7年2月	サッカークラブ活動開始

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	2 校	実施した地域クラブ総数	1 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		1 クラブ（2 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	3 人	全体の運営スタッフ数	8 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
八千代サッカークラブ	行政機関	サッカー	週 1 回	午前中	1年生9人 2年生16人	令和7年 2月～	町内中学校	3 人	8 人 （内、兼務8人）	月会費 0 円／ 年会費 0 円（など）	中体連：部活動 その他：地域クラブ

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- サッカークラブに地元出身の元Jリーガーを招いてのサッカー教室を実施

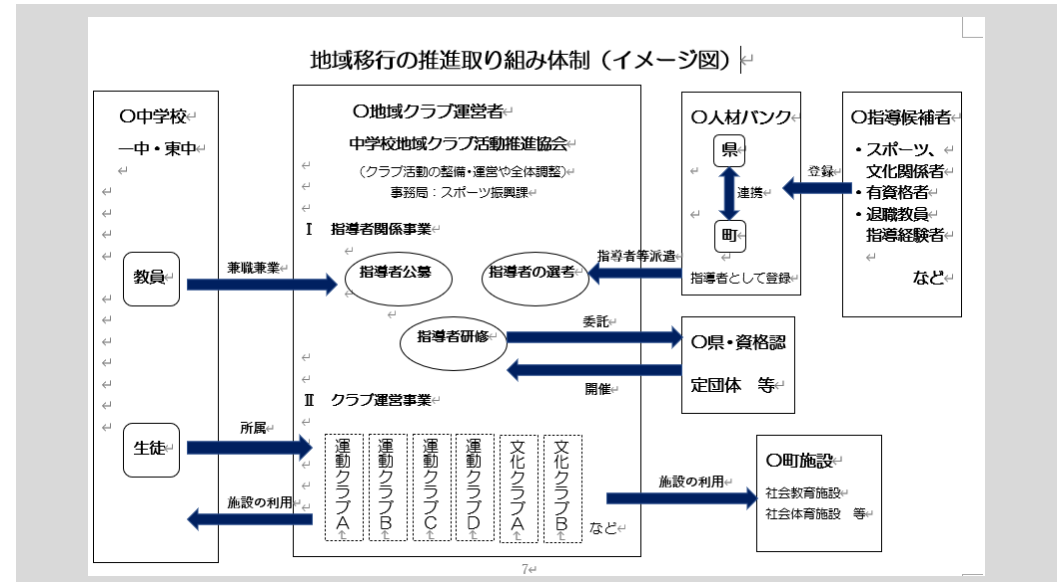
2.実証内容と成果

主な取組例

●八千代サッカークラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	サッカー
運営団体名	八千代町中学校地域クラブ活動推進協会
期間と日数	サッカー：2月11日～3月31日 月2回程度
指導者の主な属性	兼職兼業・地域おこし協力隊
活動場所	町内中学校
主な移動手段	自転車および送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	サッカー：0円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●八千代町スポーツ振興課 8名

役割：運営主体（推進協会）の事務を行う

●指導者 3名

役割：クラブの指導を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

令和6年5月に八千代町中学校地域クラブ活動推進協会を設置し、八千代町中学校部活動地域移行推進計画の策定・地域クラブ運営方針および指導者募集要領要項の決定を行った。推進協会の委員には、町スポーツ関係団体の代表および町内中学校の校長、PTA会長などが所属し、連携を図っている。また、推進計画・運営方針には地域クラブの要件、責任の主体を明記している。

取組の成果

推進協会に所属しているスポーツ関係団体の代表、また学校関係者から意見をいただき、指導者人材バンクの充実、また、指導者に兼職兼業の教員を含める形でサッカークラブの発足を行うことができた。

コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・推進計画、クラブ運営方針、指導者募集要領要項の作成
- ・学校やスポーツ関係団体との連絡調整

今後の課題と対応方針

地域クラブの発足に際しては、指導者の確保、また、学校の協力が不可欠であると感じている。今後とも関係団体と連携を取りながら、指導者の確保を行い、指導者が確保できた種目から順次、学校との連絡調整を行い、地域クラブへの移行を進めていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

現在、指導者の募集を行い、人材バンクの充実を図っている。募集にあたっては、町ホームページへ掲載のほか、スポーツ関係団体への協力も依頼している。また兼職兼業の取組みとして、教員への説明会の実施など、学校との連携も図っている。

人材バンクの人数

24名

人材バンクの年齢構成

10代	0名
20代	5名
30代	3名
40代	3名
50代	9名
60代以上	4名

登録者属性

職業

・パート	2名
・自営業	1名
・公務員	12名
・教員	3名
・会社員	6名

種目

- ・剣道
- ・サッカー
- ・柔道
- ・ソフトテニス
- ・卓球
- ・バスケ
- ・野球
- ・陸上

資格有無

- ・教員免許
- ・公認指導者ライセンス
- ・スタートコーチなど

取組の成果

本年度より指導者の募集を開始し、人材バンクに24名を登録することができた。教員や地域の指導者にも登録をいただき、その中でも登録の多かったサッカーについて、地域クラブの発足を行うことができた。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

推進協会には町スポーツ協会会長、スポーツ少年団本部長、スポーツ推進委員長、学校長などが所属し、関係団体との連携の強化を図っている。また令和6年10月からは地域おこし協力も活用し、部活動地域移行への取り組みを行っている。

取組の成果

関係団体との連携はもちろんのこと、部活動地域移行について見識がある外部人材を、地域おこし協力隊として任用することで、スムーズに地域クラブの発足を行うことができた。

今後の課題と対応方針

部活動地域移行を推進していくためには関係団体とのさらなる連携強化が必要となる。また地域クラブの増加に際しては、運営スタッフの人員不足も考えられるため、ICTツールの活用など、効率的な運営方法を検討していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

・サッカークラブの発足に際して、
 サッカー部の保護者に対して説明会を実施した。

活動の詳細

参加人数	20 人	指導者数	3 人
属性	町内中学校サッカー部の保護者		
具体的な内容	サッカークラブの概要説明 活動頻度について 運営体制について 会費の徴収について		
関係者の声	地域クラブと学校部活動のすみわけについて 試合への参加は部活になるのか、地域クラブになるのか 送迎や当番の役割はどうなるのか		

2.実証内容と成果

参考資料（活動写真）



【発足式及び講演会の様子】



【発足式及び講演会の様子】



【サッカー教室の様子】



【紅白戦の様子】

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

八千代町の地域移行スケジュール

令和6～7年度を実証事業期間として、令和8年度中を**目標**に休日の部活動の完全移行を進めます。

令和6年度

- ・推進協会設置
- ・推進計画策定
- ・指導者募集
- ・地域クラブ創設 ※1



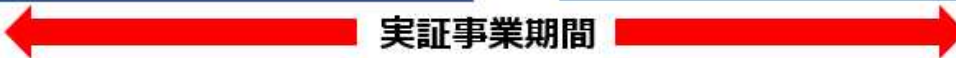
令和7年度

- ・指導者募集
- ・地域クラブ創設



令和8年度

- ・指導者募集
- ・地域クラブ創設
- ・休日部活動の完全移行(目標)



※1 令和6年度に実証事業として**1クラブ**の活動を開始します。